

色麻町教育委員会の事務の管理及び執行状況  
についての点検及び評価の結果報告書  
(平成26年度実績)

平成27年8月

色 麻 町 教 育 委 員 会



## Ⅰ はじめに

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、平成26年度の色麻町教育委員会の教育基本方針に基づく具体的施策や重点事業等の実施状況について点検及び評価を行うものです。さらに、学識経験者の意見を聴取したうえで、課題や今後の改善方策を明らかにするとともに効率的かつ効果的な教育行政の推進を図ることとし、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表することにより、町民に対する説明責任を果たし町民に信頼される教育行政を推進するものです。

平成27年8月

色麻町教育委員会

## 関係法令

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 実施概要

### (1) 評価の対象

教育基本方針に基づく教育重点施策や具体的事業実践プラン等の実施状況について点検及び評価を行いました。

### (2) 対象期間

平成26年度（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

### (3) 評価の観点

教育基本方針に示す具体的施策等について、成果と課題を明らかにした上で、次に示す5区分により達成度を評価しました。

⑤	大変満足
④	概ね満足
③	普通
②	やや不十分
①	不十分で改善必要

## III 結果

### (1) 具体的取組計画等の評価

評価	⑤ 大変満足	④ 概ね満足	③ 普通	② やや不十分	① 不十分で改善必要
項目数	0 (0.0%)	122 (63.9%)	69 (36.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

### (2) 総合評価

評価	⑤ 大変満足	④ 概ね満足	③ 普通	② やや不十分	① 不十分で改善必要
項目数	0 (0.0%)	40 (72.7%)	15 (27.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

### (3) 公表の方法

町ホームページに掲載します。

## 色麻町の教育基本方針

色麻町の恵まれた自然の中で、未来に向けて志を高くし、心身ともに健やかな人間の育成と、潤いと活力に満ちたふるさとづくりを目指して、次のことを重点に、本町の未来を展望しながら、町民の生涯にわたる学習の充実に努めます。

- **確かな学びの力と  
やさしさやたくましさを培う学校**
- **学びと潤いを大切に  
人と人との絆をつなぐ家庭と地域社会**
- **芸術文化の創造と  
活力ある生涯スポーツの振興**

### IV 目次

#### 教育の重点

##### 学校教育

1	創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進	6
2	確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫	7
3	各発達段階に応じた「志教育」の推進	11
4	豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成	12
5	学校体育、保健・安全教育、食育指導の充実	16
6	一人一人の発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進	19
7	情報活用能力の育成と情報モラルを培う情報教育の推進	20
8	各教科、道徳、特別活動の時間との関連を図った指導計画の作成	21
9	教職員の資質向上と福利厚生への充実	24
10	安全確保並びに教育施設の充実と活用の促進	27

## 幼稚園教育

1	教育課程を踏まえた創意と活力に満ちた園の経営	30
2	幼児の発達の特徴を踏まえた特色ある教育課程の編成と実施・改善	30
3	個々の特性に応じた指導の充実	31
4	発達段階を踏まえた幼・保・小の連携による学びの土台づくり	32
5	家庭や地域・関係機関との緊密な連携による基本的な生活習慣の確立	33
6	子育て支援と預かり保育の充実	33

## 社会教育

1	生涯学習の推進	36
2	ライフステージに応じた教室、講座等の充実	38
3	芸術文化活動の振興	42
4	文化財保護体制の整備充実と活用の推進	44
5	生涯スポーツの推進	46
6	図書事業の推進	49
7	情報技術・視聴覚教育の充実と振興	50

## 学識経験者による意見書

意見書	51
-----	----

# 学 校 教 育

# 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

## 1 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進

### (1) 地域から信頼されている着実な学校経営

主 要 事 業	① 小中一貫校のよき校風づくりに向けた教育目標の設定と具現化	
具体的取組計画等	・義務教育9年間で3つのブロックに分け、発達段階に応じた学びと育ちをつなぐ教育を展開する。	3
主 要 事 業	② 地域とともに歩む開かれた学校づくりの推進	
具体的取組計画等	・地域の人々へ学校だよりの回覧や地域の諸機関・代表の人々へ学校行事の案内を行う。また地域のボランティアの活用を図る。	4
主 要 事 業	③ 学校評価システムの構築と計画的評価の実践・活用・改善	
具体的取組計画等	・児童・生徒、保護者によるアンケート、教職員による学校評価、学校評価委員会による評価を実施し、学校が改善すべき内容を把握し、結果を公表するとともに、その年度及び次年度の教育課程編成に生かす。	4
主 要 事 業	④ 学校評議員制の積極的な活用と学校運営への反映	
具体的取組計画等	・年3回の定例会を実施し、学校と評議員が課題を共有するとともに、学校への信頼を維持する場とする。また、学校評議員が学校と地域の橋渡し役となるような関係づくりに努める。	4

### 成果と課題

総合評価

4

- ・開校一年目の取り組みを行事や学校だより、PTA広報誌等を活用して地域に発信し、理解と協力を得ることができた。
- ・地域との信頼関係や小中一貫校としての基盤をより強固にしていくために、外部からの評価や建設的な意見を受けて、より一層の課題改善に努めることが必要である。

### (2) 創意と工夫に満ちた教育課程の実施と評価

主 要 事 業	① 学習指導要領に基づいた創意と工夫に満ちた小中一貫教育の実施と評価	
具体的取組計画等	・中期(小5～中1)の教育課程編成の工夫を始めとした特色ある小中一貫教育の教育課程を編成する。また、PDCAサイクルを生かした学校評価を行い、その反省を次に生かしていく。 ※PDCAとは・・・Plan(計画) Do(実行) Check(確認) Action(改善)	4

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

<b>主 要 事 業</b>	② 小中一貫教育の教育課程の編成と潤いのある教育活動の推進	
具体的取組計画等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学5・6年生の英語科を始め、一部教科担任制の授業を取り入れ、特色ある小中一貫校の教育課程を展開する。</li> </ul>		4
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学1年の授業において、小学校教諭がT2及び個別指導に当たり、特色ある小中一貫校の教育課程を展開する。</li> <li>※T2とは・・・二人チームで役割分担してクラスを担当する指導方法。</li> </ul>		3
<b>主 要 事 業</b>	③ 個に応じた指導計画の作成と改善	
具体的取組計画等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に職員間で共通理解を図り、配慮が必要な児童の個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、チームできめ細かな指導に取り組む。</li> </ul>		3
<b>主 要 事 業</b>	④ 地域の教育力を生かした教育活動と相互連携の推進	
具体的取組計画等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人材や施設設備を生かした学習活動を展開し、学校支援ボランティアなどの積極的な活用を図る。</li> </ul>		4

### 成果と課題

総合評価

4

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は特に、中期の教育課程に重点を置き、小学校英語科に中学校教員が乗り入れたり、自主公開研究会で小学校5学年の理科の授業を小中理科担当がTT指導を行ったりと小中一貫校ならではの工夫をすることができた。</li> <li>・小中一貫教育の教育課程をさらに推進するために、共通理解を図り、確実に共通行動につなげていくことが重要である。</li> <li>※TT(チームティーチング)とは・・・複数の教師が協力して授業を行う指導方法。</li> </ul>
--

## 2 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫

### (1) 教職員の研修の充実と教科等の指導力の向上

<b>主 要 事 業</b>	① 小中一貫教育推進の共通理解と教育課題解決に向けた研究・研修の充実	
具体的取組計画等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校合同による研究推進委員会・研修会を開催し、小中一貫教育の研究・研修システムを構築する。また、小中合同の研究テーマを設定し、授業力向上のための研究・研修を活性化する。</li> </ul>		4

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

<b>主 要 事 業</b>	② 研修意欲の高揚に向けた組織づくりと運営の工夫
具体的取組計画等 ・定期的に小中学校合同の研修会を行う。また、各種公開研究会への参加を促し研修意欲の高揚を図る。	
<b>4</b>	
<b>主 要 事 業</b>	③ 専門職としての資質と指導力の向上を目指した校内研修体制の整備・充実
具体的取組計画等 ・校内研修をより活性化するとともに、外部から講師を招聘し、教育界の流行を確認しながら、教師の指導力を高めていく。また、分かる授業の提供及びそれに伴う学習内容の定着を図る指導法の研究を進める。	
<b>4</b>	

### 成果と課題

総合評価

4

- ・研究授業や授業実践、事後検討会を積み重ねたり、外部講師を招聘し、自主公開研究会を開催したりするなど校内研究、研修の機会を充実させることができた。
- ・教職員一人ひとりの指導力向上を目指し、さらに校内研修体制の充実を図りたい。

### (2) 発達段階と学習内容に応じた指導と評価の工夫

<b>主 要 事 業</b>	① 発達段階と小中一貫教育指導区分に応じた課題設定と評価を踏まえた指導計画の作成
具体的取組計画等 ・前期・中期・後期毎に研究授業を行い、小中一貫教育における効果的な指導方法を探究し、その成果を指導計画に反映させ随時検討を加え改善を図る。	
<b>3</b>	
<b>主 要 事 業</b>	② 分かる授業づくりや自ら学ぶ意欲の喚起と体験的・課題解決的な学習の充実
具体的取組計画等 ・基礎・基本の指導を徹底するとともに、体験的・課題解決的な学習の実践を行い、学ぶ意欲を高める。また、「学ぶことと生活の関連」を意識させ「なぜ学ぶのか」を常に問いかけながら、学ぶ意義を涵養する。	
<b>4</b>	
<b>主 要 事 業</b>	③ 少人数・習熟度別指導等効果的な指導形態による個を生かす指導の充実
具体的取組計画等 ・中学年の算数科及び高学年での英語科において、TT指導や少人数指導を行う。また、高学年で一部教科担任制を導入し個を生かす指導の充実に努める。	
<b>4</b>	
・数学科・英語科での少人数指導やTT指導並びに取り出しによる個別指導等、きめ細かてかつ個に応じた指導に当たるよう努める。	
<b>4</b>	

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

主 要 事 業	④ 評価の観点及び評価規準の設定と活用及び指導と評価の一体化	
具体的取組計画等 ・各教科で評価の観点や評価規準を設定するとともに、絶対評価の理念を常に確認しながら、評価とは教師の指導の結果であることを共通理解し、常に指導と評価の一体化を図った教科指導を推進する。		4
主 要 事 業	⑤ 各教科等の関連を図った横断的・総合的な学習の充実	
具体的取組計画等 ・各教科の学習内容との関連を図るとともに、小中9年間を見通した横断的・総合的な学習が推進される年間指導計画を作成し実践する。		3
主 要 事 業	⑥ 小・中連携による補充・発展的な学習の工夫及び小学校高学年における英語科と一部教科担任制の実施と改善	
具体的取組計画等 ・中期を中心に、小中学校の協働による教材研究、5・6年生の英語科を始めとした中学校教員による指導や理科の教科担任制による指導を通し、より専門的な授業を展開し、児童の学力・学習意欲の向上を図る。		4
・中期を中心に、小中学校の協働による教材研究を通し、より系統性をもたせた指導方法を確立し、生徒の学力・学習意欲の向上を図る。		4
主 要 事 業	⑦ 標準的な学力検査の実施と結果の分析・活用	
具体的取組計画等 ・標準学力検査結果から各学年の課題や経年変化を確認し、児童・生徒個々の達成度・到達度を把握し、個に応じた指導に生かすとともに教師の授業力の向上についても確認する。		4

### 成果と課題

総合評価

4

・少人数指導やTT指導、中期での小中連携による学習指導など、指導形態や指導体制を工夫し、児童生徒の学習意欲の向上や基礎的基本的な力の定着につなげることができた。  
 ・小中一貫教育の系統性や各教科等の関連を含め、小中協働の教材研究や分かる授業の創造を目指し、より一層指導力を向上させていく。

### (3) 児童・生徒の家庭学習の習慣形成

主 要 事 業	① 家庭と連携した生活リズムの見直しと改善	
具体的取組計画等 ・学校・学年・学級だよりや懇談会を通じ、生活リズムの確立の啓発に努める。また、保護者アンケートから、実態を把握し、保護者、児童への説明を通して生活リズムの啓発を図る。		4

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

<b>主 要 事 業</b>	② 児童・生徒の発達段階に応じた学習課題の与え方の工夫	
具体的取組計画等		
・発達段階に応じた課題(宿題)の与え方や自主学習の目標時間の設定等を検証し改善を加える。		4
・発達段階に応じた課題(宿題)の与え方や自主学習の目標時間の設定等を検証し改善を加える。また、授業→復習→予習のサイクルを意識させた授業づくりに努める。		4
<b>主 要 事 業</b>	③ 小中一貫教育の指導区分に即した自主的な家庭学習の習慣化	
具体的取組計画等		
・本読みカードや自主学習ノートを活用し宿題の工夫による家庭学習の習慣化を図る。また、各種たよりで保護者の家庭学習に対する意識を高め、児童の自主的な家庭学習の習慣を身に付けさせる。		4
・教科間での連携による、予習・授業・復習といった学習サイクルの確立を図る。毎日宿題を与えることや学ぶ意義を徹底し、家庭学習習慣を確かなものにする。		4

**成果と課題** **総合評価** 4

・各学年の発達段階に応じた家庭学習の内容や方法を提示し、家庭学習の習慣化を図ることができた。また、校内自主学習ノートコンクールを開催し、学年ごと模範となるノートの写しを展示し、自主学習への意欲を高めることができた。

・授業と家庭学習が学力の向上に結びつくよう、学習サイクルの定着を図り、児童生徒の主体性を高められるよう啓発に努めたい。

### (4) 教育環境の整備と有効活用

<b>主 要 事 業</b>	① コンピュータ、視聴覚機器等の活用の工夫	
具体的取組計画等		
・各教科・領域でコンピュータや視聴覚機器を活用した効果的な学習指導を計画的に行う。		3
<b>主 要 事 業</b>	② 学校支援ボランティア等地域人材の活用	
具体的取組計画等		
・各教科や総合的な学習の時間を始め、様々な教育活動において、地域の人材を活用しより充実した教育活動を展開する。		4
・上記に加え、部活動においても外部講師活用を継続する。		4

# 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

成果と課題

総合評価

4

- ・各教科指導や総合的な学習の時間において、学習支援ボランティアや地域の人材を活用し、学習の充実を図ることができた。
- ・学習指導をより効果的に行うために、必要に応じてコンピュータや視聴覚機器の活用を図ることが必要である。

## 3 各発達段階に応じた「志教育」の推進

### (1) 発達段階に応じた「志教育」の推進

主 要 事 業	① 自他のよさに気付かせ個性を伸ばす指導の工夫	
具体的取組計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科や総合的な学習の時間を始め、様々な教育活動において、人との触れ合いや体験的な学習を取り入れ、他者との関わりを通して自己有用感を育てる。</li> </ul>	4
主 要 事 業	② 将来への夢や希望をもち実現を目指す姿勢の育成	
具体的取組計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科・領域において、将来の夢や職業について学習する時間を計画的に設定する。小学4年生では1/2成人式を実施する。</li> </ul>	4
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業体験を始めとした社会人と触れ合う体験的な学習や立志式(2年)を通して、将来について考える機会を設定する。</li> </ul>	4
主 要 事 業	③ 色麻を知り、学び、つくる教育活動の推進	
具体的取組計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年において、色麻学の理念に基づく学習内容を整理し、各教科・領域においてその効果的な指導の在り方について検討する。</li> </ul>	3
主 要 事 業	④ 小・中・高等学校や家庭・地域社会との連携によるキャリア教育の推進	
具体的取組計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署や清掃工場、自動車工場などの見学や地域の学校支援ボランティアの働く姿や体験活動を通して、働くことの意義を考えさせる。</li> </ul>	4
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の事業所での職場体験の充実を図る。また、本校卒業生を講師に招いた講話や高校体験入学を通し、キャリア教育を推進する。</li> </ul>	4

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

<b>主 要 事 業</b>	⑤ 働く喜びや勤労の尊さを経験させる啓発的体験活動の実施		
具体的取組計画等			
	・学級の係活動や清掃活動、家庭での手伝いを通して、自分の役割や責任を果たす喜びを体験させる。	4	
	・日々の清掃活動や学期末の大掃除(愛校作業)を通して、働く喜びや勤労の尊さを体験させる。	4	

<b>成果と課題</b>	<b>総合評価</b>	<b>4</b>
<p>・各学年の発達段階に応じて志教育を実践してきた。特に、前期小学校4年の1/2成人式と、後期中学校2年の立志式では、自分の成長を自覚し、将来の夢や希望を考え、保護者に発表する機会をもつことができた。</p> <p>・学校教育活動全体を通して児童生徒の自己有用感、自己肯定感を醸成していくことが必要である。</p>		

### 4 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成

#### (1) 豊かな心をはぐくむ道德教育の推進

<b>主 要 事 業</b>	① 全教育活動を通じた道德的価値観の高揚と実践力の育成		
具体的取組計画等			
	・道德教育推進教師を中心に道德の授業のさらなる充実に努める。また、日々の教育活動が道德心を培う場であることを共通理解し、指導に当たる。年度末には、その年に善行を行った児童・生徒を表彰する。	3	
<b>主 要 事 業</b>	② 命を大切にする道德的価値観の内面化を図る指導の工夫と充実		
具体的取組計画等			
	・道德の資料の発掘と資料のもつ価値分析に努め、児童・生徒が共感したり考えの違いを理解したりするなど、心に響く指導の充実及び道德的価値の内面化を図る。また、研修や参観授業を通し道德指導の研修を深める。	4	
<b>主 要 事 業</b>	③ 命を大切にする道德的実践力等を養う体験的な活動の充実		
具体的取組計画等			
	・道德の時間で生命の尊重に関する資料を扱うことはもちろんのこと、各教科・領域や学校行事との関連を図り、体験活動やボランティア活動を通し道德的実践力を養う。	3	
	・上記に加え、3年生では、講師を招聘し生命の授業を行い、更なる意識の高揚及び実践力を高める。	4	

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

<b>主 要 事 業</b>	④ 家庭や地域社会との連携による道徳教育の充実	
具体的取組計画等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、学年、学級だよりを通して、道徳教育について保護者及び地域の人々の意識啓発に努める。また、学習参観や学級懇談会でよりよい子どもの姿を求めて話し合いを深め、道徳教育の充実に努める。</li> </ul>		4
<b>主 要 事 業</b>	⑤ 人権教育との関連を図り一人ひとりが大切にされる人間関係の醸成	
具体的取組計画等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護委員協議会の協力を得て、人権に関する道徳の授業参観や講話を聞く機会を計画する。また、たてわりグループを活用し、上学年が下学年の模範となる言動を身に付ける指導を工夫していく。</li> </ul>		4
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会からの呼びかけによる、いじめ根絶宣言を生徒全員が表明し、それを文章化し年間を通して掲示することで自浄能力により、人権意識を高める一助とする。</li> </ul>		4

### 成果と課題

総合評価

4

- ・各教科・領域、学校行事との関連を図りながら道徳教育を推進してきた。
- ・運動会やあいさつ運動など小中合同の活動の中で、児童生徒の道徳的实践力を高める機会をつくることができた。
- ・道徳の時間は、各教育活動で行う道徳教育を補充、深化、統合する時間であることを意識し、道徳の授業のさらなる充実を図りたい。

### (2) 望ましい人間関係づくりを目指す生徒指導の充実

<b>主 要 事 業</b>	① 児童・生徒理解を基本に据えた積極的な生徒指導の展開	
具体的取組計画等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣やあいさつ、正しい言葉遣いなど、学級活動と関連付けて指導する。また、小中全職員の情報交換を密にし実態把握、共通理解を図り児童・生徒の規範意識を高めるとともに、共通行動により指導に当たる。</li> </ul>		3
<b>主 要 事 業</b>	② いじめや不登校の未然防止及び早期発見・対応を目指した取組の充実	
具体的取組計画等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめアンケートの実施や日常の観察などを通し、いじめや不登校の早期発見・未然防止に努める。また、必要に応じて外部機関との連携を強める。</li> </ul>		4
<b>主 要 事 業</b>	③ 家庭や地域社会、関係機関との緊密な連携による生徒指導の充実	
具体的取組計画等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者対象のアンケートの実施や年3回学期末の「生徒指導等問題対策会議」の開催を通して関係機関、保護者代表、地域民生児童委員、保護司に参加してもらい、対応について協議する場を設け、適切な助言を指導に役立てる。</li> </ul>		4

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

<b>主 要 事 業</b>	④ 個々の存在感を高め、正義感をもって生きる自己指導能力の育成		
	具体的取組計画等 ・各教科・領域や学校行事において、一人ひとりが自己の役割を果たしたり協力してやり遂げたりする体験活動を通し、その過程における努力や成長を認め・賞賛し、自己有用感の意識を高める。	4	
<b>主 要 事 業</b>	⑤ 定期相談やチャンス相談等による教育相談体制の充実		
	具体的取組計画等 ・学級担任のみならず教師全員が、日頃の教育活動に於いて積極的に児童・生徒への声かけを行うとともに、言動を把握するように努める。また、小中の生徒指導主事(主任)が中心となり全職員間で共通理解を図りながら、相談・支援に当たる。	3	
<b>主 要 事 業</b>	⑥ スクールカウンセラーや相談員、関係機関との連携による適応指導の工夫		
	具体的取組計画等 ・児童・生徒、保護者、教職員がスクールカウンセラーと気軽に相談できるよう、環境を整えたり必要に応じて外部の相談機関を活用したりすることにより、児童・生徒の適応指導を効果的に進める。	4	

### 成果と課題

総合評価

4

- ・小学校と中学校双方の教員が児童生徒に関わり、声掛けできることの利点を生かし、生徒指導の充実を図ってきた。
- ・共通理解の徹底を図り、小中学校の発達段階を踏まえ、積極的な生徒指導を一層推進していくことが必要である。

### (3) 望ましい集団づくりを目指す特別活動の推進

<b>主 要 事 業</b>	① 小中一貫教育を踏まえたボランティア活動等による異学年交流活動の充実		
	具体的取組計画等 ・小中合同の学校行事を始め、小中合同の委員会活動のシステム化、クラブ活動、委員会活動、たてわり活動などを通して、よりよい集団を築こうとする実践の場を設定し、異学年交流の充実を図る。	3	
	・上記に加え、生徒会によるボランティア活動を企画・運営させる。	3	

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

<b>主 要 事 業</b>	② 望ましい集団づくりのための体験的な活動の充実		
	<b>具体的取組計画等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事やクラブ活動および委員会活動によるあいさつ運動、善行の紹介・表彰等により、よりよい集団づくりの場を設定する。また、各委員会において学校生活の諸問題の解決を図らせるなど自主的な運営を目指す。</li> </ul>	4	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活の主たる集団組織である学級、委員会、部活動等において、話し合い活動を充実させ、主体的に判断し行動する生徒の育成に努める。</li> </ul>	3	
<b>主 要 事 業</b>	③ 家庭や地域社会との連携による体験的な活動を通じた豊かな人間性の育成		
	<b>具体的取組計画等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動やPTC活動、地域の奉仕活動、子供会活動及び公民館や諸団体が行う講座・教室などを積極的に活用し、豊かな人間性の育成に努める。</li> </ul>	4	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会と連携した体験学習を重視し、高齢者との触れ合い体験学習、職場体験学習を行い、共生社会を築こうとする態度を育む。</li> </ul>	4	
<b>主 要 事 業</b>	④ 各教科や領域との関連を踏まえ、ねらいを明確にした学校行事の充実		
	<b>具体的取組計画等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会、学芸会、各教科や領域で学んだことを発表する場としての学校行事の充実に努める。また、小中合同行事での中学生との交流について検討を加え、小中一貫教育の利点を生かした学校行事の在り方を確立する。</li> </ul>	4	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に身に付けさせたい内容を踏まえた学校行事を展開し、生徒の活力となる学校行事を実践する。また、小中合同行事での小学生との交流について検討を加え、小中一貫教育の利点を生かした学校行事の在り方を確立する。</li> </ul>	4	
<b>成果と課題</b>		<b>総合評価</b>	4
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校のたてわり活動や中学校の生徒会活動では、異年齢の交流を通して望ましい人間関係づくりに取り組むことができた。また、小中合同の運動会やあいさつ運動では、小中一貫校ならではの小学生と中学生の異学年交流が見られた。今後も日常的な活動の中で、無理なく交流できる活動を検討したい。</li> </ul>			

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

### 5 学校体育、保健・安全教育、食育指導の充実

#### (1) 進んで運動に親しみ、体力の向上と運動を楽しむ姿勢を育成する指導の充実

<b>主 要 事 業</b>	① 心身の発達段階に応じた指導の工夫	
具体的取組計画等		
	・体育科の年間指導計画に基づき、発達段階に応じ、運動の楽しさを味わわせる指導に努める。また、マラソン大会を活用し、一人ひとりの目標タイム及び持久力の向上に努める。	4
	・保健体育科の年間指導計画に基づき、体力向上の充実を図る。また、自転車通学の奨励や陸上大会、駅伝大会に向けた練習により多くの生徒を参加させるよう努める。	4
<b>主 要 事 業</b>	② 進んで運動に親しみ生涯スポーツの基礎を培う体育	
具体的取組計画等		
	・水泳記録会やマラソン大会など自己目標の達成を目指させたり、基礎・基本を大切にしたい体育の授業を行ったりすることで、進んで運動に親しむ姿勢を育てる。	4
	・保健体育科の授業、体育的行事、運動部活動を通し、運動と健康との関係に関する指導や、運動に親しもうとする意欲を喚起する。	4
<b>主 要 事 業</b>	③ 体力・運動能力の向上を目指した日常的な体育活動の設定	
具体的取組計画等		
	・体育科の授業を充実させるとともに、業間時間や放課後の外遊びを奨励し、体力の向上を図る。	4
	・保健体育科の授業、運動部活動において、体力や運動能力の向上を目指した運動を継続的に実践する。また、郡陸上大会、郡駅伝大会に積極的に参加する生徒を増やす。	4

#### 成果と課題

総合評価

4

・体育科、保健体育科の授業の工夫を通して体力・運動能力の向上に努めてきた。その結果、中学校では駅伝大会の男女優勝やマラソン大会での記録更新、小学校では陸上記録会での活躍やマラソン大会での自己目標の達成につながった。今後も日常的な運動量の確保や体育科、保健体育科の授業の充実に努めたい。

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

### (2) 食生活に関する正しい知識と望ましい食習慣形成を図る食育指導の充実

主 要 事 業	① 栄養教諭による発達段階に応じた食育指導及び給食指導の実践と改善	
具体的取組計画等 ・年間指導計画に基づく学級指導と給食センターの栄養士による食育指導・給食指導を行う。		4
主 要 事 業	② 家庭や地域社会と連携した望ましい食習慣形成と生活習慣病予防のための指導	
具体的取組計画等 ・各種たより等で「はやね, はやおき, 朝ごはん」運動を推進する。また日常の給食指導や献立表の家庭への配布を通して望ましい食習慣を形成する。		3
主 要 事 業	③ 食事を通した望ましい人間関係を育む指導の充実	
具体的取組計画等 ・給食の準備・片付けを協力的に行わせるとともに, 食事のマナーの指導を充実させる。また, 給食週 間を設け, 生産者や給食センターの人々に手紙やプレゼントを準備し, 給食感謝の会を実施する。		4
・給食の準備・片付けを協力的に行わせるとともに, 食事のマナーの指導を充実させる。		4

### 成果と課題

総合評価

4

- ・栄養士と連携を図り, 計画的に栄養指導・給食指導を行うことができた。
- ・望ましい食習慣の形成については, 家庭に啓発を図りながら連携していきたい。

### (3) 健康で安全な生活を送るための保健・安全指導の充実

主 要 事 業	① 発達段階に応じた保健・安全指導の工夫	
具体的取組計画等 ・年間指導計画に基づいて, 心や体の健康, 歯の健康, 薬物乱用防止などの授業を行う。また, 学校 保健委員会・学校給食委員会との連携を図り, 校医・栄養士等の意見を取り入れて保健・安全指導の 充実を図る。		4

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

主 要 事 業	② 家庭や地域と連携した交通安全及び不審者対策の指導の徹底	
具体的取組計画等 ・春と秋の交通安全運動期間中の登校時間帯に教員による街頭指導やPTAのあいさつ運動・街頭指導を実施する。		4
主 要 事 業	③ 心身の健康や安全に関する自己管理能力の育成	
具体的取組計画等 ・身体計測や各種健康診断を実施し、自分の健康についての関心を高める。また、交通安全教室や避難訓練を通し、安全指導の充実を図る。また、必要に応じて学級担任・養護教諭が個別指導を行う。		4
主 要 事 業	④ 各教科、道徳、特別活動との関連を図った性に関する指導の工夫	
具体的取組計画等 ・年間指導計画に基づき各教科や道徳で性に関する指導をするとともに、高学年では泊を伴う行事の事前指導を活用して行う。		4
・年間指導計画に基づき各教科や道徳で性に関する指導を行う。		4
主 要 事 業	⑤ 発達段階に応じた放射線やその影響に関する適切な指導の工夫	
具体的取組計画等 ・放射線に関する冊子や視聴覚教材を活用し、放射線の作用や人体への影響について指導を行う。		3

### 成果と課題

総合評価

4

- ・年間指導計画に基づき、保健安全指導、交通安全指導を継続的に行ってきた。また、防災タイムを設定し、災害時の安全確保についても意識を高められるよう努めてきた。
- ・家庭や地域との連携を図り、より一層保健指導や安全指導の充実を努めたい。

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

### 6 一人一人の発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進

#### (1) 発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進

主 要 事 業	① 校内(特別)支援教育委員会及び就学指導委員会の活動の充実	
具体的取組計画等 ・就学指導委員会で、小中連携による効果的な特別支援教育の在り方について検討する。		3
主 要 事 業	② 特別支援コーディネーターを中心とした関係機関との連携による校内研修及び支援体制の充実	
具体的取組計画等 ・小中学校の特別支援教育コーディネーターが中心となり、小中合同の研修会を開催し教職員の資質向上に努める。また、古川支援学校、町保健福祉課との連携を深め支援体制の充実を図る。		3
主 要 事 業	③ 特別支援教育計画及び個別の支援計画の作成と積極的な活用	
具体的取組計画等 ・配慮が必要な児童の個別の支援計画や指導計画を作成し、全教員で共通理解を図り、個に応じた指導を行う。		4
主 要 事 業	④ 小中一貫教育を踏まえ、個別支援計画に基づいた適切な進路指導の推進	
具体的取組計画等 ・6(1)①～③の活動を通し、一人ひとりの進路指導の充実を図る。		4
主 要 事 業	⑤ 小中一貫教育を踏まえた交流学习推進のための協力体制の確立	
具体的取組計画等 ・該当生徒のレディネスを把握し、なるべく多くの教科・領域の学習を通常学級で行う。また、学校行事を活用した交流学习の推進や9年間を見通した交流学习の在り方について、小中学校合同の研修会等を実施する。		4

#### 成果と課題

総合評価

4

- ・配慮が必要な児童生徒の実態を踏まえ、教職員が共通理解の基に、指導を行うことができた。
- ・協力学級で授業を受けたり、学校行事での交流学习を行ったりと児童生徒の成長を図るための協力体制ができています。
- ・小中一貫教育の観点から、小中合同の研修会等を充実させていくことが必要である。

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

### 7 情報活用能力の育成と情報モラル等を培う情報教育の推進

#### (1) 情報社会に適応できる情報教育の推進

主 要 事 業	① 情報教育推進のための校内体制及び周辺機器の整備・充実	
具体的取組計画等 ・現職教育の一貫としてデジタル教材や機器の活用方法の研修会を実施する。また、各種機器の保管や利用方法を工夫し、情報教育の推進を図る。		3
主 要 事 業	② 各教科等の学習における情報活用能力の育成	
具体的取組計画等 ・各教科の指導計画に基づき、コンピュータを操作して目的に応じて必要な情報を得ることができる知識や能力を育成する。		3
主 要 事 業	③ デジタルコンテンツの活用に向けた環境整備とデータベース化の工夫	
具体的取組計画等 ・昨年度までの3校で保有していたデジタルデータを有効に活用するために、色麻学園としての新たなデータベース化を図る。		4
主 要 事 業	④ ネットワーク環境の整備とセキュリティーの確保	
具体的取組計画等 ・パソコンや周辺機器、電子黒板の活用を図る実技研修、生徒情報の持ち出しや不正なダウンロードを禁じた諸規定の徹底を図り、情報教育の充実に努める。		3
主 要 事 業	⑤ 情報モラルやネット利用マナーの指導徹底	
具体的取組計画等 ・情報教育主任が中心となり情報モラルやメール、ネチケットに関する指導を発達段階に応じて行う。 ※ネチケットとは・・・現実世界でのマナーを基本に、ネット上の特性を追加したエチケット。		3

#### 成果と課題

総合評価

3

- ・情報のデータベース化を図り、色麻学園の共有情報の管理と有効活用につながる環境が整ってきた。
- ・情報セキュリティーの意識を高めるとともに、情報教育を推進するための校内研修の充実に努めることが大切である。

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

### 8 各教科、道徳、特別活動の時間との関連を図った指導計画の作成

#### (1) 世界の中の日本についての認識と国際理解教育の推進

<b>主 要 事 業</b>	① 日本並びに地域の伝統や文化に対する関心や理解を高める指導の推進	
具体的取組計画等 ・各教科、特別活動、総合的な学習の時間において、日本の伝統的文化や色麻の伝統的文化を教材に取り入れる。		4
<b>主 要 事 業</b>	② 外国語指導助手及び外国人との積極的な交流による異文化理解教育の推進	
具体的取組計画等 ・ALTを活用し、言語のみではなく異国文化に触れることで広い視野をもつ人間形成の一助とする。また、国際理解に関する廊下掲示を工夫する等、さらに改善を加えていく。		4

#### 成果と課題

総合評価

4

- ・各教科・領域の授業を通して、色麻町の伝統や文化に触れる機会を設定してきたことにより、地域の伝統文化への関心が徐々に高まってきた。
- ・地域の文化、日本の伝統文化についての理解を深め、異文化理解につながるよう継続して指導を図りたい。

#### (2) 環境への理解を深め、よりよい環境の在り方について考える姿勢の育成

<b>主 要 事 業</b>	① 地域の自然や環境に関する体験活動を通じた環境保全の意識と環境モラルの育成	
具体的取組計画等 ・学習田・学習畑や学校花壇、町との共催事業による「花いっぱい運動」を通し、環境保全の意識や勤労生産の喜びを体感させる。		4
・各教科における環境学習内容の充実を図り、学校生活におけるゴミ分別を始めとした体験を通し、環境に対する意識を向上させる。		4
<b>主 要 事 業</b>	② 各教科、道徳、特別活動との関連を図った環境保全に向けた実践的態度の育成	
具体的取組計画等 ・各教科の指導計画やたてわり活動で栽培活動、除草活動を行ったり、花川やゴミ問題の学習を行ったりすることで、環境に関わる意識を高める。		3
・日常の清掃作業に真剣に取り組ませるとともに、学期毎の大掃除「愛校作業」を行い、実践的態度を育成する。		4

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

成果と課題

総合評価

4

- ・「人権の花運動」による植栽活動があり、花壇を中心とした環境整備を行うことができた。
- ・日常の清掃活動を重視し、環境美化に対する意識を一層高めていくことが必要である。

### (3) 人間尊重・福祉の心を大切にした人権・福祉教育の推進

主 要 事 業	① 互いに認め合い、ともに生きる心を育てる人権・福祉教育の推進	
具体的取組計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・凡事徹底を合い言葉に、さわやかなあいさつや相手の立場に立った行動等、思いやりをもって生活する児童・生徒を育成する。</li> </ul>	4
主 要 事 業	② 福祉・ボランティア活動の奨励と実践化に向けた啓発の推進	
具体的取組計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動や募金活動、アルミプルタブ回収運動に取り組む。</li> </ul>	3
主 要 事 業	③ 家庭や地域と連携した人権・福祉活動の充実	
具体的取組計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町保健福祉課との連携を深め、福祉施設の見学や福祉体験を通し、人権や福祉事業について考えを深める機会を充実させる。</li> </ul>	4

成果と課題

総合評価

4

- ・福祉体験活動やあいさつ運動を各学年や生徒会活動を中心として、工夫した活動に取り組むことができた。
- ・福祉・ボランティア活動については今後検討することが必要である。

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

### (4) 図書の充実と活用の促進を図る図書館教育の推進

主 要 事 業	① 9年間の小中一貫教育を踏まえた図書の整備・充実	
具体的取組計画等 ・担当教諭や司書との連携を図るとともに、児童・生徒・教員にアンケートを実施して適切な図書の選定を始めとした図書館運営の充実を図る。		3
主 要 事 業	② 読書に対する意欲を高める図書指導の展開	
具体的取組計画等 ・担当教諭や司書との連携を図り、朝の読書活動や図書委員会の活動を充実させ、新刊図書やたよりの発行、多読賞の表彰を行う。		4
主 要 事 業	③ 地域に開かれた図書館づくりの推進	
具体的取組計画等 ・社会教育課との連携を深める。		3

### 成果と課題

総合評価

3

- ・開かれた図書館になり、司書と連携を図り、図書の利用を促すことができた。
- ・小中で共通理解するとともに、司書や社会教育課と連携を図りながら、よりよい図書館の利用につなげていきたい。

### (5) 郷土理解に基づいたふるさと教育の推進

主 要 事 業	① 郷土や地域を理解するための体験的活動の充実	
具体的取組計画等 ・各教科・領域・学校行事において、地域の学習材や人材の活用、役場各課との連携を図った体験的な学習をできる限り取り入れ、郷土や地域の理解を深める。		4

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

<b>主 要 事 業</b>	② 郷土の文化や産業に関する教科横断的学習の推進		
具体的取組計画等			
・福祉体験学習，職場体験学習時に，町民と触れ合いながら，ふるさと色麻のよさを体感させる。			3
・色麻学について，地域素材の教材化を進め，系統化した指導計画を整備する。			3
<b>主 要 事 業</b>	③ 地域素材の教材化と地域の人材活用の推進		
具体的取組計画等			
・社会教育課（協働教育）との連携を一層深め，優れた地域人材の積極的活用を図る。			4

### 成果と課題

総合評価

4

- ・地域人材の活用を図り，体験活動を充実させることができた。
- ・地域素材の教材化や色麻学との関連についても今後整備を図っていきたい。

## 9 教職員の資質向上と福利厚生の充実

### (1) 教職員の研修の充実と実践的研究の奨励

<b>主 要 事 業</b>	① 専門職としての意識の高揚と研修機会の充実		
具体的取組計画等			
・校内研究テーマに基づいた組織づくりと役割分担を行い，PDCAサイクルにより検討と改善に努める。また，各種研修会の参加と校内での伝講会を実施して，研修機会の充実に努める。			4
<b>主 要 事 業</b>	② 校内研究体制の確立と研究・研修内容の充実		
具体的取組計画等			
・小中の研究主任と研究推進委員会を中心に，小中合同の研究体制を整える。特に，中期における学習指導の在り方を探究し，小中一貫教育の効果的な指導方法について研修を深める。			4

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

<b>主 要 事 業</b>	③ 各職責や分掌に即した個人研究の奨励とその実践化
具体的取組計画等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員一人ひとりの担当や立場、分掌などに即した、個人研究の奨励とその実践化を図る。</li> </ul>	
<b>3</b>	
<b>主 要 事 業</b>	④ 幼稚園及び小・中学校教職員の連携による研修の充実
具体的取組計画等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「幼保小連携推進」の成果を生かし、さらに研修を深められるようにする。学校行事などを通して、幼・小・中学校教職員相互の連携の充実を図る。</li> </ul>	
<b>4</b>	

### 成果と課題

総合評価

**4**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫校になって、校内研究の土台づくりの1年目であった。</li> <li>・小中合同の研修会や研究授業、事後検討会を実施し、小中教職員の協働意識を高めることができた。</li> <li>・校内の研究体制を整備し、共通理解と共通行動を図り、系統立てた研究となるよう改善に努めたい。</li> </ul>	
--	--

### (2) 教職員の服務規律遵守の徹底

<b>主 要 事 業</b>	① 教育公務員としての自覚と規律の遵守
具体的取組計画等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例の職員会議や打ち合わせを始め様々な機会を通し、教育公務員としての自覚と服務規律の遵守の徹底を図る。</li> </ul>	
<b>4</b>	
<b>主 要 事 業</b>	② 職務遂行における危機管理意識の高揚
具体的取組計画等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・万が一の事故発生時の対応に関する研修を行い、危機管理意識の高揚に努める。また、情報交換が密で、風通しのよい職場づくりに努めるとともに、公務員としての服務規律について、常日頃から職員に周知・徹底させる。</li> </ul>	
<b>4</b>	
<b>主 要 事 業</b>	③ 児童・生徒や保護者及び地域との信頼関係の確立
具体的取組計画等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者には、学校・学年・学級だよりや保護者会を通して信頼関係を築く。また、地域に向けては、学校だよりを地区内に回覧し、積極的に学校の様子を知らせていく。</li> </ul>	
<b>4</b>	

# 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

成果と課題

総合評価

4

- ・職員会議や打ち合わせで継続して服務規律の遵守と危機管理意識の啓発を行い、意識化が図られてきている。
- ・教育公務員としての役割と責任の重さを今後とも意識させるためにも、研修や情報交換を充実させていきたい。

## (3) 教職員の健康管理と福利厚生の実施

主 要 事 業	① 個々の心身の情報の的確な把握と適切なケアの推進	
具体的取組計画等	・日頃から、職員間・職員と管理職間での会話を通して、心身の状況把握に努める。また、保健主事、養護教諭からの専門的な指導を行う。	4
主 要 事 業	② 各種休暇の有効利用の促進	
具体的取組計画等	・年次休暇やリフレッシュ休暇など、各種休暇の有効利用を進める。また、必要に応じて「健康相談」を勧めたり、効率的な勤務の推進について指導助言を行ったりする。	4
主 要 事 業	③ 各職場単位及び職場相互の福利厚生活動の推進	
具体的取組計画等	・教職員相互の健康維持・増進に向けて、種々の福利厚生活動を実施する。	3

成果と課題

総合評価

4

- ・日常から、一つの職員室の中で、教職員のコミュニケーションが図られてきた。
- ・教職員の心身の健康維持・増進に向けて、さらに意思疎通が十分な職場環境づくりに努めたい。

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

### 10 安全確保並びに教育施設の充実と活用の促進

#### (1) 学校環境の安全確保と整備・充実

主 要 事 業	① 学校周辺や通学路の安全点検と施設設備の定期点検・整備		
具体的取組計画等 ・定期的な学区内巡視を始め、PTAとの連携を深め、通学路及び地区の危険箇所の点検を行い、対処が必要な場所には赤旗を設置し、注意を喚起する。		4	
主 要 事 業	② 施設・設備・植栽の管理・保全と安全指導の徹底		
具体的取組計画等 ・月初めの施設の安全点検を確実にを行い、破損箇所を発見した場合、早急に修繕する。また、日々校舎内外の確認も欠かさずに行う。		4	
主 要 事 業	③ 学校環境の美化及び緑化の推進		
具体的取組計画等 ・学年花壇の経営、緑化委員会による草花栽培、「花いっぱい運動」による学校環境美化に努める。また、PTAと協力し奉仕作業を実施し、学校環境美化及び緑化に努める。		4	
主 要 事 業	④ 学校教育関連施設及び給食用食材の放射線量の測定と児童・生徒の安全確保		
具体的取組計画等 ・毎月校地内の放射線量の測定を行い、児童・生徒の安全確保の目安とする。		4	

#### 成果と課題

総合評価

4

- ・日常から安全な環境整備に努めることで、迅速に対応することができた。
- ・今後もPTAとの連携を図り、危険箇所の点検や環境美化に努めたい。

#### (2) 施設・設備の開放の促進

主 要 事 業	① 地域並びに社会教育・社会体育への積極的な開放の推進		
具体的取組計画等 ・学校施設の工事完了後、学校施設開放に努め、地域の社会教育推進に寄与する。		3	

## 小中一貫校「色麻学園」 事務事業点検評価

主 要 事 業	② 学校図書館の開放と県や町図書館との連携による活用の促進	
具体的取組計画等 ・社会教育課との連携を深め、学校図書館開放の充実を図り、地域の社会教育推進に寄与する。		3

<b>成果と課題</b>	総合評価	3
・6月に校庭の工事が完成した後に、校庭を地域のスポーツ少年団に開放することができた。 ・今後も社会教育課と連携を図りながら、地域の社会教育推進に寄与していく。		

### （3）教材・教具の整備・充実と活用の促進

主 要 事 業	① 教材・教具・備品の点検・整備・活用	
具体的取組計画等 ・常に教材・教具・備品の整理を心がけ、学期毎に台帳の整備を実施する。また、購入や廃棄も計画的に行う。		3
主 要 事 業	② コンピュータや視聴覚機器等の効果的活用の推進	
具体的取組計画等 ・校内研修や校内授業研究会において、コンピュータや視聴覚機器を効果的に活用する機会を多くもつ。		3
主 要 事 業	③ 民俗文化財等の保護・管理と効果的活用	
具体的取組計画等 ・教育委員会と連携を図り、民俗文化財等の保護に努める。		3

<b>成果と課題</b>	総合評価	3
・小中一貫校がスタートして、備品の整理を進めてきたが、十分でない面もあった。 ・教材・教具の整備に努め、効果的に活用できるよう研修の機会の充実を図りたい。		

# 幼 稚 園 教 育

# 色麻幼稚園 事務事業点検評価

## 1 教育課程を踏まえた創意と活力に満ちた園の経営

主 要 事 業	① 幼児・家庭・地域社会の実態を踏まえた創意ある教育課程の編成と実施	
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・予想される幼児の姿を3歳4歳5歳ごとに想定し、地域家庭の実態を加味して教育課程を編成する。</li> <li>・幼児の発達課題を踏まえ関係機関とのなお一層の連携を進める。</li> </ul>		4
主 要 事 業	② 職員の協働体制の確立と実践の評価をもとにした園教育の充実・向上	
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な園評価を教職員と保護者により実施し、よりよい保育について指向を続ける。</li> <li>・職員組織を整え、お互いに連携して園の活動推進に努力する。</li> </ul>		3
主 要 事 業	③ 地域に開かれた信頼される園経営の実践	
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・園だよりや父母の会の便りを発行し、地域の人々の理解と協力を得るとともに幼稚園行事への積極的な参加を促していく。</li> <li>・保育参観などの行事を通じて幼児教育の理解を積極的に進めていく。</li> </ul>		4

### 成果と課題

総合評価

4

- ・幼児の発達段階を考慮した教育課程を編成し実施することができた。加除修正を加えながらよりよいものへと改定していく。
- ・職員組織を整えながら連携して教育活動を推進することができた。組織の活動を更に意識させ高めていく。
- ・園からの情報を保護者や地域に向けて発信するとともに父母の会と協力しながら幼稚園での活動を広めることができた。地域の人々との連携協力を積極的に進めていきたい。

## 2 幼児の発達の特性を踏まえた特色ある教育課程の編成と実施・改善

主 要 事 業	① 適切な環境の構成と計画的な評価・改善	
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・園経営や園研究について評価計画を立案し計画的な評価を実施し、よりよい保育をめざしていく。</li> </ul>		3
主 要 事 業	② 具体的なねらいや内容を明確にした指導計画の作成	
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的に教育目標達成の道筋を示した指導計画を作成し、評価反省を加えていく。</li> </ul>		4

## 色麻幼稚園 事務事業点検評価

主 要 事 業	③ 必要性と教育的価値に裏付けされた行事の設定	
具体的取組計画等 ・教育目標の具現について職員間で共通理解を図り、発達段階に合った行事を企画実施し評価反省を加えよりよいものにしていく。		4
主 要 事 業	④ 幼児の思いと教師の意図の融合の推進	
具体的取組計画等 ・個々の幼児を正しく理解し、個性の伸長を指向した保育活動を進める。 ・保護者の思い、保育者の思いを適切に把握し、よりよい方向での保育活動に努める。		4

<b>成果と課題</b>	<b>総合評価</b>	4
・教育目標具現化の道筋を示すことができた。細かでより具体的な道筋計画を練っていく。 ・幼児の思い、教師の意図を適切に把握し、個々が伸びる保育をめざしてきた。より具体的な目標ねらいの設定を行い、質の高い保育活動をめざしていく。		

### 3 個々の特性に応じた指導の充実

主 要 事 業	① 生きる力の基盤形成のための個に応じた指導の充実	
具体的取組計画等 ・家庭の協力を得ながら個々の特性をきめ細かく見極め、適性に添った保育活動に努める。		4
主 要 事 業	② 幼児期にふさわしい思考・態度・生活の基礎に関する学びの充実	
具体的取組計画等 ・発達段階を考慮した学び、まねびを進めていく。 ・「あいさつ」を基本にした生活のリズム作りを通して幼児期にふさわしい生活を身に付けていくよう促していく。		3
主 要 事 業	③ 個々の主体的な活動の促進と豊かな体験のための指導の推進	
具体的取組計画等 ・体験や経験を重視した活動を進め、感じる、考える、触れ合う、ことばに発する等の活動を積極的に進める。		3

## 色麻幼稚園 事務事業点検評価

<b>主 要 事 業</b>	④ チーム保育の指導体制や活動形態の工夫
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士間の意思疎通を十分に行い、指導体制を多様化して変化のある保育活動を実施する。</li> <li>・保育者の個性を伸長する、幼児の個性を伸長する指導体制の工夫をする。</li> </ul>	
<b>3</b>	
<b>主 要 事 業</b>	⑤ 幼児期の道徳性の芽生えを培う体験の積み重ねと適切な援助
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の生活リズムに「あいさつ」を根づかせるとともに、いたわる心や思いやる心を醸成する。</li> </ul>	
<b>3</b>	

<b>成果と課題</b>	<b>総合評価</b>	<b>3</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や保護者と協力しながらあいさつを基本にした生活リズム作りができつつある。ことば、あいさつに着目した保育活動を積極的に進めていく。</li> <li>・個々の主体的な活動を促すために組織間の意思疎通を十分に行い実施することができつつある。個の伸長に着目した指導体制の具体化を進めていく。</li> </ul>		

### 4 発達段階を踏まえた幼・保・小の連携による学びの土台づくり

<b>主 要 事 業</b>	① 学びの連続性を踏まえた教育課程の工夫・改善と教師間の交流・連携の推進
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの機関の特性を尊重しながら、連携協力し、連続性を意識した保育活動を進める。</li> </ul>	
<b>4</b>	
<b>主 要 事 業</b>	② 幼・保・小の指導のねらいの明確化と遊びを通じた他の人々との交流活動の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相互の訪問活動を通じて触れ合いを楽しむなどスムーズな連続性の進展に努める。</li> </ul>	
<b>4</b>	

<b>成果と課題</b>	<b>総合評価</b>	<b>4</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保、幼小の連携を適時に行いお互いの理解につなげてきている。具体的な活動の計画・実施・評価反省を加えながらよりよいものをめざしていく。</li> </ul>		

## 色麻幼稚園 事務事業点検評価

### 5 家庭や地域・関係機関との緊密な連携による基本的な生活習慣の確立

主 要 事 業	① 保護者や家庭との密接な連携による基本的な生活習慣の育成や規範意識の醸成	
具体的取組計画等 ・保育参観や園だよりを活用して基本的な生活習慣について啓発活動を進めていく。 ・保育活動での規範意識の形成は保育者だけでなく園全体で行う。		3
主 要 事 業	② 家庭や専門諸機関との緊密な連携による個に配慮した適切な指導と支援の充実	
具体的取組計画等 ・関係機関とのきめ細かい連携により、個々の特性に適した指導支援を進める。		4
主 要 事 業	③ 幼児の安全最優先を基本に関係機関との緊密な連携による危機管理体制の確立	
具体的取組計画等 ・防災主任を中心とし、小中学校や地域の防災担当者とも密接な連携意見交換で、幼児の安全確保に努める。		4

### 成果と課題

総合評価

4

・家庭や保護者の協力により基本的な生活習慣の定着について意識付けができています。項目を絞って指導の重点を明らかにしながら更にしっかりと取り組んでいく。  
 ・安全安心な幼稚園を意識して活動に取り組んできている。地域の人々や保護者と連携しながらより確かな防災意識を高めていく。

### 6 子育て支援と預かり保育の充実

主 要 事 業	① 家庭や地域の子育て支援等地域の幼児教育センターとしての役割の充実	
具体的取組計画等 ・子育て支援室との連携を中心に他の関係機関とも連絡を密にしながら幼児教育の充実に努める。		4

## 色麻幼稚園 事務事業点検評価

主 要 事 業	② 預かり保育の実施にあたっての諸条件・実態への十分な配慮
具体的取組計画等 ・保育者の配置, 指導内容の充実など預かり保育の環境をよりよい方向で充実を図る。	
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;">4</div>	

<b>成果と課題</b>	総合評価	4
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援室と情報の共有に努めてきている。より決めの細かな指導支援を続けていくとともに柔軟な指導体制を作っていく。</li> <li>・保護者の要望に応える預かりの実施を試みてきている。人員の確保, 指導内容の充実等をさらによりよいものへと高めていく。</li> </ul>		

# 社 会 教 育

# 社会教育 事務事業点検評価

## 1 生涯学習の推進

### (1) 学習機会の拡充と生涯学習情報の提供

主 要 事 業	① 生涯学習関係行事予定表の全戸配布による情報の提供	
具体的取組計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内各機関や団体の年間行事予定の情報を収集し掲載する。</li> <li>・年に2回、各家庭に配布し、「色麻町行事暦」とともに生涯学習情報提供に活用する。</li> </ul>	4
主 要 事 業	② 出前講座等を活用した学習機会の提供	
具体的取組計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習ニーズに対応した講座メニューの定期的な見直しを図る。</li> <li>・出前講座チラシを全戸配布するとともに、町ホームページで広報する。</li> </ul>	4
主 要 事 業	③ 広報紙や町のホームページ、有線放送等を活用した学習情報の提供	
具体的取組計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報しかまの「生涯学習のひろば」で毎月の事業予定や事業の経過報告を行う。</li> <li>・町ホームページの生涯学習のページを充実させ、最新の学習情報を提供する。</li> <li>・事業の参加者募集について有線放送を活用し広報する。</li> <li>・無線ネットワーク活用による各家庭への生涯学習情報提供について検討する。</li> </ul>	4

### 成果と課題

総合評価

4

- ・広報しかま、生涯学習予定表、行事暦、有線放送、町ホームページ、チラシにより効果的な生涯学習情報の提供に努めた。
- ・生涯学習出前講座の申込みが増えるなど情報提供の成果が表われている。今後も積極的な情報発信に努めたい。また、新たな情報提供手段として、有線放送に代わる無線ネットワークを有効に活用したい。
- ・学習情報を提供するためには、学習情報の収集や整理も重要なことであり、積極的な情報収集を進めることが必要である。

### (2) 生涯学習の環境づくりの推進（協働教育プラットフォーム事業）

主 要 事 業	① 学校、家庭及び地域住民等相互の連携・協力の推進	
具体的取組計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の要請に基づき、学校支援ボランティア登録者リストの中から、ボランティアを派遣・活用し各事業や教育の効果を高める。</li> </ul>	4

## 社会教育 事務事業点検評価

主 要 事 業	② 新たな指導者の育成とボランティアの養成	
具体的取組計画等 ・各種事業にボランティアとしての参加を促し、ボランティアが活動できる環境づくりに努める。		3
主 要 事 業	③ 既存のサークル活動への支援	
具体的取組計画等 ・サークル活動に必要な情報を提供する。		3
主 要 事 業	④ 学習講座参加者による継続学習のためのサークル移行の推進	
具体的取組計画等 ・自主運営のアドバイスや指導助言を行う。 ・希望に応じて、文化協会や体育協会への加入勧誘を進める。		3

### 成果と課題

総合評価

4

- ・地域の人々の経験や学習成果が地域に還元されることにより、少しずつ地域の教育力が高まっている。
- ・本事業の取り組みにより子どもたちが地域をつくり学ぶ機会ができて郷土を大切に思う心を育むことができています。
- ・学校支援活動では、地域の人々は学校への関心が高まり、活動により生きがい作りにもつながっている。今後も地域・家庭・学校がそれぞれ適切な役割を担いながら連携していくことが必要である。

### (3) 生涯学習施設の効果的活用の促進

主 要 事 業	① 気軽に利用できる環境づくりと学校教育施設の開放	
具体的取組計画等 ・学校施設を利用する手続きを簡素化し、利用規定などを明確にしながら運用し、生涯学習活動の場として有効に活用する。		3

## 社会教育 事務事業点検評価

成果と課題

総合評価

3

- ・各施設とも生涯学習施設として積極的かつ親しみと愛着を持ち施設を利用している。
- ・施設予約においては、多くの人々が利用することができるようルールを設けたり、施設の利用状況が分かる利用予定掲示板を設置したり、利用上の注意の表示の設置など町民が利用しやすい施設利用環境の整備に努めた。
- ・学校教育施設の利用においても、円滑な運営ができた。
- ・既存施設の有効利用を工夫し、備品の充実を進めていく必要がある。

## 2 ライフステージに応じた教室、講座等の充実

### (1) 幼児教育の充実

主 要 事 業	① 幼児期を対象とした情操教育の場の提供	
具体的取組計画等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育事業で、祖父母(親子)レクリエーション、体育あそび、音楽あそび、創作あそび、エアロビ、あそびうたコンサートなどを通し、情操教育の場を提供する。</li> </ul>		4
主 要 事 業	② 幼稚園・保育所及び児童センターとの連携強化	
具体的取組計画等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育事業で、幼稚園、保育所、児童センターとの連携と情報交換を深め、事業内容を検討し事業を実施する。</li> </ul>		4

成果と課題

総合評価

4

- ・幼児期は社会に生きるための基礎を学ぶ時期である。幼稚園、保育所、子育て支援センターと連携を深めながら事業内容を検討し、親子レクリエーション、体育あそび、音楽あそび、あそびうたコンサートなど各種幼児教育事業を実施し健康な心と体を育むことができています。今後も、子どもたちが、触れ合いを深め、身近に体育や音楽に触れることにより豊かな情操を育む機会を提供していくことが必要である。

### (2) 家庭教育の充実(協働教育プラットフォーム事業)

主 要 事 業	① 子育て・親育ち講座の開催	
具体的取組計画等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習参観日など保護者が集まる機会を活用して、小学校や幼稚園の保護者を対象に子育て、子どもの生活習慣、食育などをテーマとした「家庭教育講演会」を開催する。</li> </ul>		3

## 社会教育 事務事業点検評価

<b>主 要 事 業</b>	② 家庭教育, 子育てに関する相談体制の充実
具体的取組計画等 ・家庭教育の相談があった場合に, 適宜必要な子育て情報を保護者に提供する。	
<b>3</b>	
<b>主 要 事 業</b>	③ 家庭教育の情報提供
具体的取組計画等 ・必要な家庭教育情報や, 家庭教育講演会の内容などを掲載した広報紙を発行し, 家庭教育の情報を提供する。	
<b>3</b>	

### 成果と課題

総合評価

**3**

- ・家庭教育講演会は, 幼稚園, 小学校, 中学校の保護者を対象に3回実施した。子どもの生活習慣, 健康, 食育などをテーマにした講演内容は好評であった。
- ・プラットフォームの家庭教育支援部で家庭教育情報紙「ほっとたいむ」を年2回発行し, 親の視点から家庭教育情報を発信した。
- ・相談体制については確立されておらず, 定期的な相談会や窓口も開設していない。かわりに家庭教育講演会時に質問の時間を設定している。

### (3) 青少年教育の充実(協働教育プラットフォーム事業)

<b>主 要 事 業</b>	① 地域教育力の再生に向けた青少年の体験活動・ボランティア活動の支援
具体的取組計画等 ・サマーキャンプ, こどものまち, 合宿通学を通して, 体験活動を実施する。	
<b>4</b>	
<b>主 要 事 業</b>	② 地域ぐるみで青少年を守り育てる体制の整備
具体的取組計画等 ・学校, 家庭, 地域の連携のもと, 地域の教育力を活用し, 各種体験活動を通して, 子どもを育てる体制を整備する。	
<b>4</b>	
<b>主 要 事 業</b>	③ 放課後における子どもたちの安全・安心な居場所の確保
具体的取組計画等 ・色麻学園内で学童保育を実施する。対象は小学生1～3年。放課後, 長期休業日, 土曜日に開設する。一時的な預かり保育を実施し, 子育て支援を充実させる。	
<b>4</b>	

## 社会教育 事務事業点検評価

<b>主 要 事 業</b>	④ ジュニアリーダーの育成と地域貢献の機会拡大	
	具体的取組計画等 ・ジュニアリーダー初級, 中級, 上級の各研修会やサマーキャンプ, こどものまちの各種事業を通して, 資質の向上を図る。	<b>4</b>
<b>主 要 事 業</b>	⑤ 青年たちの広域的な出会いや交流機会の提供	
	具体的取組計画等 ・広域的な出会いの場を提供する大崎定住圏域事業として, 「であいふれあい事業」を実施する。広報しかまで情報を提供し周知する。 ・必要に応じて結婚相談会を実施する。(年1回程度)	<b>3</b>
<b>主 要 事 業</b>	⑥ 青年の地域活動支援	
	具体的取組計画等 ・大崎地方青年文化祭(ユースフェスティバルin大崎)に参加し, 青年の交流を図るとともに, 伝承文化の継承に努める。	<b>3</b>

### 成果と課題

総合評価

**4**

- ・サマーキャンプ, こどものまち, 合宿通学で地域の教育力を活用し体験活動を通し人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性を育むことができた。
- ・学童保育事業は安心・安全な運営ができた。
- ・青年たちの広域的な出会いの交流機会の提供や結婚相談会を実施しているが, 参加状況が低調なため, 広報周知などを徹底していく必要がある。

### (4) 成人教育の充実

<b>主 要 事 業</b>	① 成人式の開催	
	具体的取組計画等 ・式典は成人者による実行委員会の企画で実施している。内容は国歌ピアノ伴奏者, 町民憲章朗読者, 誓いの言葉朗読者, アトラクションの内容を決める。また, 成人者, 恩師, 来賓へ原稿を依頼し, 記念文集「はたち」を作成する。	<b>4</b>
<b>主 要 事 業</b>	② 成人の多様な学習ニーズに対応する事業の推進と学習機会の拡大	
	具体的取組計画等 ・様々なライフステージや現代的な課題の多様な学習ニーズに対応した学習機会を提供する。	<b>3</b>

## 社会教育 事務事業点検評価

<b>主 要 事 業</b>	③ 外国語や異文化にふれあう機会の提供と国際理解の推進		
具体的取組計画等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTを講師に外国語教育, 国際人としてのセンスやマナーを身に付けることを目的とした英会話教室を開催し, 異なる文化に対する理解を深める。</li> </ul>			4
<b>主 要 事 業</b>	④ ボランティア活動と地域活動への参加の推進		
具体的取組計画等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援ボランティアを始め, 運動会スタッフ, こどものまち, 読書ボランティアなど地域のニーズと町民の間をコーディネートし, 無理のない活動ができるよう取り組み, ボランティアに参加する町民も生きがいにつながるようなボランティア活動の機会を設定する。</li> </ul>			3
<b>主 要 事 業</b>	⑤ 生活合理化運動の推進		
具体的取組計画等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すばらしい色麻を創る協議会」を中心に生活合理化運動, あいさつ運動, 見守り運動などの普及啓蒙を積極的に進める。</li> </ul>			4

### 成果と課題

総合評価

4

- ・成人式では対象者が自分達で記念文集を発行した。
- ・英会話教室を始めとする成人教育事業では, 講座を通じた参加者の交流やコミュニケーションづくりも図られ生きがいも感じられ事業の目的が達成できた。
- ・各種行事へのボランティアの協力を得ることができた。
- ・生活合理化運動も各地域に浸透しつつある。
- ・生涯各期に応じて, 町民のニーズに応えられるような新たな事業を継続的に実施していく必要がある。

### (5) 女性教育の充実

<b>主 要 事 業</b>	① 女性の特性を活かした地域社会活動への参加の推進		
具体的取組計画等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・婦人会活動への支援・協力をを行い女性の地域活動への参加促進を図る。</li> </ul>			4
<b>主 要 事 業</b>	② ニーズに応じた学習講座の実施		
具体的取組計画等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人教育事業の中で, 参加対象を広げ, 女性教育講座を実施する。</li> </ul>			3

## 社会教育 事務事業点検評価

成果と課題

総合評価

4

・婦人会は、住民と行政をつなぐ団体として、生活に関する相互扶助、伝統文化の継承、地域課題の解決などの役割を果たしている。婦人会活動への支援・協力を行い女性の地域活動への参加の推進を図ることができた。  
 ・成人教育の中で、幅広く女性の参加者が増えるような講座開催の工夫をしてきたが、女性に限定した講座は実施しなかった。今後は女性が自らを高めるとともに、生き生きと輝けるような学習機会を提供していく必要がある。

### (6) 高齢者教育の充実

主 要 事 業 ① 高齢者の「健康」と「生きがい」につながる学習講座や研修の実施

具体的取組計画等

・豊齢者学級の学習カリキュラムの中で、健康づくりへの関心を高め、生きがいにつながり気軽に取り組めるような学習機会を提供する。

4

成果と課題

総合評価

4

・保健福祉課と連携して豊齢者学級を6回開催した。消費生活、健康、食の身近なことをテーマとした講座は好評だった。今後も高齢者が地域の中で心豊かな生活を送るためにも、生きがいと楽しみを持って取り組めるような学習機会の提供に努める必要がある。

## 3 芸術文化活動の振興

### (1) 芸術鑑賞の機会の提供と拡充

主 要 事 業 ① 巡回小劇場や青少年劇場小公演の企画と実施

具体的取組計画等

・小学生を対象として、巡回小劇場を実施し、香り高い芸術鑑賞機会を提供し豊かな情操を養う。  
 ・中学生を対象に、青少年劇場小公演を実施し、優れた芸術を身近に鑑賞し豊かな情操を養い、青少年の豊かな人格形成を図る。

4

## 社会教育 事務事業点検評価

成果と課題

総合評価

4

・小中学生を対象にそれぞれ巡回小劇場と青少年劇場小公演を実施した。香り高い芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供し、豊かな情操と人間性を養うことができた。また、普段あまり経験のない生の演奏を鑑賞することは、子どもたちにとって貴重な経験となっている。これまで小中学校を対象に2回実施していたが小中学校と協議しながら、年一回、小中学生と一緒に鑑賞できるよう検討を進めたい。

### (2) 芸術文化活動の担い手の育成

主 要 事 業	① 町文化協会の活動及び支援体制		
具体的取組計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さなぶり芸能大会を実施し、郷土芸能の振興(郷土芸能の発表, 婦人会等チャリティ)を図る。</li> <li>・町民文化祭を実施し、町文化協会加盟団体の作品展示及びステージ発表など学習活動発表の機会とする。</li> </ul>	4	
主 要 事 業	② サークル活動への支援		
具体的取組計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら生涯学習活動に取り組む活動を育成・支援し、町民が生涯学習活動に積極的に取り組むことができる環境整備を推進する。</li> </ul>	3	

成果と課題

総合評価

4

・生きがいを持ち豊かな感性を身に付けるため、文化活動の中心である文化協会と協力・連携して町民文化祭やさなぶり芸能大会を文化活動の推進を図り、文化の薫る町となるよう機会の提供に努めた。今後は、初心者向けの講座を開催するなど、様々な文化活動に触れる機会を提供して新規参加者の増加を促していく必要がある。また、担い手育成という点では、若い世代の参加を積極的に促していく必要がある。

#### 4 文化財保護体制の整備充実と活用の推進

##### (1) 文化財保護体制の整備

主 要 事 業	① 文化財保護管理事業	
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財パトロールとして県文化財保護地区指導員による埋蔵文化財の現況調査を行う。</li> <li>・文化財防火デー(毎年1月26日)に、町消防部局とともに町内文化財防火行事を行う。</li> <li>・南奥羽山系カモシカ保護地域の調査及び保護・記録のための対応をする。</li> <li>・文化財指定のための調査及び新規の文化財指定を行う。</li> <li>・各種開発に際して、埋蔵文化財保護のための協議、調査を行う。</li> <li>・文化財保護審議会による文化財保存及び活用に関する調査審議を行う。</li> </ul>		3

##### 成果と課題

総合評価

3

<ul style="list-style-type: none"> <li>・県事業である「文化財パトロール」と「カモシカ通常調査」については、県委嘱の指導員と連携を図り、報告書の作成まで終了した。</li> <li>・県指定文化財の安置される往生寺において、「文化財防火デー」時の査察を実施した。</li> <li>・概ね通常の業務は遂行できたが、新規の文化財指定に関する調査については、候補を挙げるに留まったため、今後さらに積極的に進める必要がある。</li> </ul>	
---	--

##### (2) 史跡の整備

主 要 事 業	① 史跡の整備	
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定史跡(国指定「日の出山瓦窯跡」・県指定「念南寺古墳群」)及びアクセス道路を整備する。</li> <li>・老朽化した木製の文化財標柱をアルミ製の物に更新(年1本)する。</li> </ul>		3

##### 成果と課題

総合評価

3

<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定史跡の整備を随時行った。</li> <li>・標柱の更新に関して、往生寺の案内看板の更新を行った。</li> </ul>	
--	--

(3) 伝統・伝承芸能活動の積極的な支援

主 要 事 業	① 伝統・伝承芸能活動の積極的な支援	
具体的取組計画等 ・町指定無形(民俗)文化財を支援する。(清水田植え踊り・清水神楽) ・伝統芸能及び郷土芸能活動の奨励を支援する。(高城獅子踊り・カップパギ色麻・仙北麦つき踊り・桜花太鼓・加美松坂節保存会・小学校の郷土芸能活動) ・町文化協会と連携し、伝統・伝承芸能の記録保存及び公開事業を行う。		3

成果と課題

総合評価

3

- ・町文化協会と連携し、秋まつりでの発表の機会を設けたが、今年度は日程が合わず、公開を行える団体はなかった。
- ・豊齢者学級内で、郷土芸能の映像公開を初めて実施した。
- ・小学校が一つになり、これまで学校単位で行っていた伝統芸能の継承が中断している。

(4) 町内の文化財や資料展示室等を活用した学習機会の提供

主 要 事 業	① 町内の文化財や資料展示室等を活用した学習機会の提供	
具体的取組計画等 ・町内史跡めぐりを講師対応で行う。(念南寺古墳群・日の出山瓦窯跡・荒川堰ほか) ・健康ウォーキングでの史跡講話を行う。(保健福祉課主催によるウォーキング時の講話) ・資料展示室における各種展示及び関連事業を実施する。		4

成果と課題

総合評価

4

- ・外部依頼による講師業務(「出前講座」含む)が5件あり、町の歴史等の解説を行った。
- ・涌谷町と協力して「特別巡回展」とそれに関わる諸行事を実施した。この機会に町外、県外からの来客者を対象とした行事を充実させたかったが、他の業務との兼ね合いで実施できないものがあった。

## 5 生涯スポーツの推進

### (1) 生涯スポーツの普及振興

主 要 事 業	① 町体育施設の環境整備	
具体的取組計画等 ・体育施設の維持管理を適正に行い、多くの町民が安全で気持ちよく利用できるようスポーツ環境の整備に努める。		3
主 要 事 業	② 町体育施設の効率的運用	
具体的取組計画等 ・体育施設の予約方法にルールを設け、多くの町民が気軽に利用できるよう効率的な運用を進め、スポーツ振興に努める。		4
主 要 事 業	③ スポーツ推進計画に基づく事業の推進	
具体的取組計画等 ・色麻町スポーツ推進計画に基づき、スポーツに取り組むきっかけづくり、組織づくり、ひとづくり、環境づくりを進める。		3
主 要 事 業	④ 総合型地域スポーツクラブの設立準備	
具体的取組計画等 ・色麻町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会を開催し、クラブ設立について検討し、その必要性について結論を出す。		3
主 要 事 業	⑤ コーディネーショントレーニングの普及	
具体的取組計画等 ・コーディネーショントレーニングを取り入れた研修会を実施する。 ・有資格者にスキルアップの機会を提供する。		4

### 成果と課題

総合評価

3

- ・町スポーツ推進計画に基づき各種施策を推進できた。
- ・体育施設の維持管理を徹底し、予約方法にも一定のルールを設けて多くの町民が気軽に体育施設を利用できるよう効率的な運営に努めた。
- ・体育協会・スポーツ少年団・学校と連携して、コーディネーショントレーニングを実施した。集中力向上や新陳代謝の促進を高めるのに有効であり、今後は定期的実施する。

## 社会教育 事務事業点検評価

### (2) 各種スポーツ大会の実施

主 要 事 業	①② 町民大運動会の開催 スポーツイベント「チャレンジデー」の開催	
具体的取組計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民一体となって町民大運動会を開催し、スポーツを楽しみ、地域の連帯感を深める。</li> </ul>	3
主 要 事 業	③ 各種スポーツ大会の実施	
具体的取組計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スポーツ大会及び事業(バドミントン・バレーボール・ボウリング・ドッジビー・野球・バスケットボール・ソフトボール)を実施する。</li> </ul>	3
主 要 事 業	④ 各種スポーツ教室の実施	
具体的取組計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを楽しみ親しむ機会を設け、日頃の運動不足の解消を図る。主に、秋～冬期間のスポーツ(ヨガ・スキー)を実施する。</li> </ul>	3

### 成果と課題

総合評価

3

- ・町民一体となって町民大運動会を実施し、多くの町民がスタッフとして携わり運営されている。
- ・各種スポーツ大会が実施されているが、参加チーム数は減少傾向にあるほか、種目によっては参加チームに偏りがある。多くの町民がスポーツ大会に参加しスポーツを楽しむ機会を設けるためには、参加しやすい体制や環境を整えることなどの工夫が必要である。
- ・スポーツ教室は2講座のみの開催に留まっている。関係機関との連携を図りながら気軽に参加できるスポーツ教室の実施が必要である。

### (3) 子どもの体力・運動能力の向上に向けた取組

主 要 事 業	① 親子レクリエーションの開催	
具体的取組計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育事業と連携して、幼稚園、保育所、子育て支援センターで祖父母(親子)レクリエーションを実施する。</li> </ul>	4
主 要 事 業	② 体育あそびの開催	
具体的取組計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育事業と連携して、幼稚園、保育所、子育て支援センターで体育あそびを実施する。</li> </ul>	4

## 社会教育 事務事業点検評価

成果と課題

総合評価

4

- ・将来にわたってスポーツに親しむには、幼児期でのスポーツ体験が重要である。幼児が様々な運動を体験し、運動することの楽しさを感じるとともに、運動を通じた親子の触れ合いを深めた。
- ・バランス感覚を養ったり、子どもの運動能力を引き出したりと楽しくスポーツを体験した。年1回の開催となっているが、定期的に取り組む必要がある。

### (4) スポーツ少年団活動の支援

<b>主 要 事 業</b>	① 町スポーツ少年団への支援		
	具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団事業(入団・修了式, スポーツテスト, 研修会)に対する支援を行う。</li> <li>・体育施設, マイクロバスの貸し出しを実施する。</li> <li>・活動を適正化するための指導・助言を行う。</li> </ul>	<b>3</b>	
<b>主 要 事 業</b>	② 町スポーツ少年団指導者の資質の向上		
	具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団指導者に対する研修機会・情報の提供を行う。</li> </ul>	<b>3</b>	
<b>主 要 事 業</b>	③ 町スポーツ少年団の案内		
	具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・団員・指導者登録の窓口として, 募集, 登録, 保険の諸手続を行う。</li> <li>・新規団体設立のための支援を行う。</li> </ul>	<b>3</b>	

成果と課題

総合評価

3

- ・団員・指導者の登録・マイクロバスの貸出・保険への加入など日常的な業務は適切に執行された。
- ・大きな行事が入団式と修了式に留まった。
- ・来年度, 大崎地区協議会の事務局と, 全国大会の実行委員として大会運営を行う予定である。

## 6 図書事業の推進

### (1) 図書室の活用促進

主 要 事 業	① 居心地の良さと機能性を持たせた図書室の経営	
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書室の地域開放に伴い、あわせて図書室内公民館図書コーナーを設け読書環境の整備を図る。</li> <li>・予約やリクエストにも応じることができるよう、読書ニーズに応えるとともに、県図書館との連携を深め、相互貸借や協力貸出を有効に活用し、気軽に訪れることができ、心が落ちつく図書館となるよう読書環境づくりを進める。</li> <li>・学校と連携して、「子ども司書」を育成する。</li> </ul>		4
主 要 事 業	② 図書まっりの開催	
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書まつり「おはなし会」を幼稚園、保育所、子育て支援センターで実施し、絵本の読み聞かせを通して、本と触れ合い、読書の楽しさを知る機会を提供する。</li> </ul>		4

### 成果と課題

総合評価

4

- ・色麻学園が開校し学校図書室が地域開放されている。学校図書室の中に公民館図書コーナーも併設されており、子どもも一般利用者もそれぞれの本を自由に読むことができ町民と児童生徒の交流や地域の読書活動の活性化につながっている。
- ・新聞と雑誌を並べ始めた。
- ・季節ごとにミニ企画展示を実施したり、今の話題の本を紹介した。また、学校と連携して子ども司書養成講座を実施した。
- ・町民の読書ニーズに応えるために蔵書構成を考慮しながら蔵書を増やしていくことが必要である。

### (2) 読書習慣の定着が図られるような図書環境づくり

主 要 事 業	① 移動図書「なかよし号」の巡回	
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書館「なかよし号」で町内各地区集会所、幼稚園、保育所、子育て支援センターを巡回し、本の貸出を行う。また、幼稚園・保育所では、巡回時に読書ボランティアによる「おはなし会」を実施する。</li> </ul>		4
主 要 事 業	② 親子読み聞かせ講座等の実施	
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書ボランティアを育成するとともに、基本的知識と技能を習得する機会を提供する。</li> </ul>		4

成果と課題

総合評価

4

・移動図書館車「なかよし号」の巡回は、各地域に定着しつつある。色麻学園図書室に来館することができない場合にも有効であり、多くの町民が本に親しむことができおり、利用者同士のコミュニケーションも図られている。また、読みたい本のリクエストも増えている。  
 ・幼稚園・保育所の巡回時には、読書ボランティアによる小さな「おはなし会」も実施している。新たな読書ボランティアのグループもできた。読書ニーズに応じていくためにも、蔵書構成を充実させていく必要がある。

7 情報技術・視聴覚教育の充実と振興

(1) 大崎生涯学習センターの活用促進と基本的知識や能力を習得する機会の提供

主 要 事 業 ① 大崎生涯学習センターの利用案内

具体的取組計画等

- ・センター事業の広報を行う。
- ・センターの運営に対し、委員として参画する。

3

成果と課題

総合評価

3

- ・センターからの広報物の設置を行った。
- ・公民館としての利用実績はなし。

(2) 各種視聴覚教材ソフトを活用した学習活動の推進

主 要 事 業 ① 保育所、幼稚園及び小・中学校が借用する各種視聴覚ソフトの受け取りと返納の手続き

具体的取組計画等

- ・大崎生涯学習センターより送付される各種視聴覚ソフトを円滑に受け取り、返納できるよう連絡体制を充実する。

3

成果と課題

総合評価

3

- ・今年度から貸出の方法が変わり、公民館を経由しなくなった。

# 色麻町教育委員会事務事業点検評価意見書

(平成26年度事業)

## 色麻町教育委員会事務事業点検評価（平成26年度事業）意見書

グローバル化の進展により国際競争が激しさを増しており、また、少子高齢化も急激なスピードで進んでいる。このような社会では、志を高く持ち、意欲を持って自立した人間として未来を切り開いていく力が必要であり、教育のあり方もより一層の進化が求められている。学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの健やかな成長を図り誰もが生涯を通じて学習できる環境づくりをはじめ、文化、スポーツの推進などこれまでの取組を継承し、さらに発展させていくことが必要である。

事務事業点検評価は、具体的施策に基づく主要事業の取り組みと達成度を5段階で評価し、さらに成果と課題が示されている。総合評価においては、「概ね満足」72.7%、「普通」が27.3%という達成状況であり、教育行政事務が全体として前進していることが評価できる。「大変満足」が0.0%であるが、「やや不十分」0.0%、「不十分で改善必要」もなく、年度ごとに評価に基づき改善・見直しを図ってきた成果がうかがえる。「学校教育」「幼稚園教育」「社会教育」について総体的に意見を取りまとめた。

学校教育については、色麻町立小中一貫校「色麻学園」が平成26年4月に開校した。

色麻学園では、高い理想を目指し自ら学ぶ態度を身に付け、風雪に耐えて生き、たくましい体をつくり、誠を求め共に磨きあい、さわやかに生きる力を校訓として、一人一人の豊かな可能性を信じ、将来、より大きなものになっていくよう、全力で教育活動に邁進していることが分かる。

開校一年で、ほとんどの項目で概ね満足の達成状況が得られたことはとても素晴らしく、教育委員会、学校、家庭、地域との連携がしっかりとれ、取り組んだ結果だと思う。「発達段階や特性を考慮した特別支援教室の推進」については、配慮が必要な児童生徒について、子どもだけではなく家庭への指導をしっかりと行い、理解・協力を得ることが必要だと思う。学校、家庭としっかりと共通理解の基で児童生徒に合った適切で専門的な指導を望む。また、周りのからかい等からいじめにつながらないようにする為に現状を把握し、他の生徒にも理解してもらえる指導を行ってほしい。

「望ましい人間づくりを目指す生徒指導の充実」については、「はやね、はやおき、朝ごはん」運動、生活習慣やあいさつ、正しい言葉遣い等基本的なことをしっかり行うことが、学力向上にもつながっていくと思うので引き続き指導をしていくことが大切だと考える。「望ましい集団づくりを目指す特別活動の推進」については、小中一貫校として

の利点を生かし、運動会やあいさつ運動の他にも異年齢の交流活動をもっと積極的に行ってほしい。

地域から信頼されている着実な学校経営については、学校評価システム構築では、アンケート等で改善内容を把握しているが、根本的な原因を理解した上で次年度の教育課程編成に生かしていただき、小中一貫校としての基盤をより強固にするため課題改善を計画的に実践に生かしてほしい。

開かれた学校づくりの推進については、地域の方々への学校行事や大会結果報告等は、広報「しかま」や有線放送にて学校側より発信していたが、タイムリーな発信の工夫改善を望む。学校に関して、地域の方々が多く関心を持っているので改善の取り組みが必要だと思う。

学習内容に応じた指導については、小学校では同学年で先生が違い、中学校では同学年で教科により先生が異なり先生方の指導力の差があるように感じる。その結果、自ら学ぶ意欲が低下することが懸念されるため、更なる“分かる授業づくり”を目指してほしい。教職員の横の連携、個人のスキルアップにきめ細かな指導体制を工夫し、児童生徒の学ぶ意欲の向上に努めていただくことを期待する。

福祉教育については、あいさつ運動は、児童生徒や保護者の方々が実施、定着したことは大変評価される。今後も、工夫をした活動に期待する。また、ボランティア活動については、26年度の教育活動が着実に浸透し27年度につながっている活動になるが、「ネパール地震救援金の募金活動」でも子どもたち自ら立ち上げた啓蒙活動は高く評価される。

図書事業については、学校教育においても、小学校でも学校図書館の利用を活性化し、読書する時間を設け子どもたちを活字の世界へと導くことが必要だと思う。読書の楽しさに目覚め、自然に読書習慣が身につけることができ、豊かな心を育み学力向上につながると考える。

学校教育については、今後も課題と目標を明確にし、横の情報連携を密にとっていくことが大切だと思う。不備な点についてはその都度一つ一つ丁寧に改善し、保護者、地域と協力し学校の発展につなげていただきたい。最近の教育現場のストレスは大きいと聞く。子どもたちはもちろん、現場で働く先生方のフォローも忘れてはいけないと思う。子どもや先生方に負担がかからないよう、町全体で支援し、子どもたちが笑顔で健全に学べる場所になるよう期待する。

幼稚園教育については、新しい色麻幼稚園として平成26年4月に開園した。旧清水小学校の改修工事の完了を待って、2学期から正式に「色麻幼稚園」としてスタートしたわけだが、子どもたちも、変わった環境の中での生活で戸惑いもあったと思うが、教職員の指導により新たな園舎や園庭では、毎日子どもたちの元気な声が響き、楽しく心豊かな園生活を送ることができていると感じる。

新たに3歳児からの3年保育を実施しているが、幼児期から児童期への発達段階を踏まえた学びの連続性を重視するとともに、幼稚園、保育所、小学校の指導のねらいの明確化と遊びを通じた交流活動の充実に努め、学びの土台づくりを推進してきた成果は評価できる。園児一人一人が集団生活の中で人とかかわる力が育ち、しなやかな心を持つ心が育つよう今後も一層の充実に期待したい。

幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであるため、今後とも、幼児期の特性を踏まえ、よりよい教育環境を創造するように努めていただきたい。

社会教育については、経済の発展に加え、科学技術の高度化、情報化、少子高齢化等の進行を背景として、町民は心の豊かさを求め、生涯を通じて健康で生きがいのある人生を過ごしたいと思っている。このようなことを踏まえ、町民一人一人が、いつでも、どこでも、自主的・自発的に学習し、真の生きがいづくりにつながる生涯学習の推進に努めてきたことが評価できる。

生涯学習情報の提供では、色麻町の教育基本方針の啓蒙も含め、各種案内、有線放送、町ホームページ等により細かな学習ニーズに応えられるよう全町的な学習情報の提供を行ってきた。また、地域における様々な教育資源の掘り起こしや地域の教育力の向上、情報収集・整理・提供にも努めてきた。しかし、生涯学習活動に際して、講座情報や各種団体への入会方法、施設の利用方法、物品の借用方法がよくわからないなど、情報の発信方法の改善が求められている。

今後は有線放送に替わり情報発信の方法が無線ネットワークを活用した情報提供となる。最新の無線情報通信機器の活用による情報発信により多くの町民の方々へより広く学習情報を発信するよう努めていただきたい。

生涯スポーツについては、それぞれの施設がもつ課題はあるものの、予約方法や使用に関してもルールが設けられ、気軽に気持ち良く施設利用ができていると判断できる。大きな決定的な欠陥はないと判断できるが、町民の健康と体力向上を図るため、スポー

ツ施設の充実が必要である。改善センター、屋外運動場、町民体育館、武道館、テニスコートとも経年劣化による老朽化が目立つため、大規模修繕が必要となっている。大きな予算が伴うことも考えられるため、修繕の年次計画を立て財政や企画部門と協議しながら、数ヶ年で順次修繕や整備を進めることが急務と考える。今後も適宜施設の整備・充実を図りながら、利用者の利便性の向上と利用者の増加を促進していただきたい。

図書事業については、移動図書、なかよし号の巡回、幼稚園・保育所巡回時のボランティアによる「おはなし会」などの取り組みは今後も継続してほしい。本の読み聞かせは、考える力が育ち、理解力や表現力、コミュニケーション能力が高まる効果があると言われている。

町民の誰もが生きがいと潤いに満ちた人生を送ることができるよう生涯各期にわたる生涯学習活動の更なる振興と発展を期待する。生きがいのある活力に満ちた豊かな町として、「誰でも、いつでも、どこでも」学ぶことができる生涯学習環境の整備を図るとともに、学習の成果が社会に還元されるようこれまでの成果をもとに、さらなる生涯学習の充実を目指して、生涯学習推進体制の基盤を強化しながら主要事業を推進するよう期待する。

結びに、平成26年度の教育委員会は、十全に機能しており、施策の重点項目や主要事業もおおむね達成していると判断できる。小中一貫校「色麻学園」は2年目を迎えた。子どもたちのスポーツ等での上位入賞、活躍を耳にすると、とても嬉しく思う。一方、テレビ・新聞では“いじめ問題”が取り上げられ報道されている。全国的にいじめの問題がクローズアップされている中、本町でも“いじめ問題”を最も身近で深刻な人権侵害案件ととらえ、教育委員会と学校側とで情報を共有化し連携を密にし、いじめ根絶を目指して継続して取り組んでいただきたい。

今後も教育委員会におかれましては、引き続き効果の検証や改善への取り組みを進め、より効果的な施策展開となるようさらなる取り組みを期待する。

色麻町教育委員会事務事業点検評価委員

浅	野	孝	幸
福	田	由	一
早	坂	淳	子



平成27年8月

評 価 者

色麻町教育委員会

学識経験者

委員長 佐々木 景 喜

浅 野 孝 幸

委 員 大 場 茂 樹

福 田 由 一

委 員 小 川 泰 子

早 坂 淳 子

委 員 武 田 由 紀

教育長 菅 原 利 之